

N1 Series

CCD タッチ式バーコードリーダー

取扱説明書

Ver.1.4b

対応機種:N1 シリーズ (USB キーボードインタフェース)



はじめに

このたびはバーコードリーダー<N1 シリーズ>をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

本取扱説明書には、<N1 シリーズ>の取り扱い方法、接続方法および内部パラメータの設定方法について記載してありますので、ご使用前に「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、安全に正しくお取り扱いくださるようお願い致します。また、本書は、お読みになった後も、必要なときにすぐに見られるよう、大切に保管しておいてください。

ご注意

- (1) 本書の内容の全部または一部を無断で複製することは禁止されています。
- (2) 本書の内容については改良のため予告なしに変更することがありますのでご了承ください。
- (3) 本書の内容については万全を期しておりますが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなどお気づきのことがございましたら巻末の弊社担当窓口までご連絡くださるようお願い致します。
- (4) 本書に基づいて<N1 シリーズ>を運用した結果の影響については、(3)項にかかわらず弊社では責任を負いかねますのでご了承くださいようお願い致します。

商標について

Microsoft® Windows®は、米国 Microsoft Corporation の、米国およびその他の国における登録商標または商標です。その他の商標および登録商標は、所有各社に帰属します。

目次

はじめに.....	2
ご注意.....	2
商標について.....	2
目次.....	i
安全上のご注意.....	4
N1 の接続手順.....	5
USB キーボードインタフェースの接続手順.....	5
設定手順.....	6
出荷時設定.....	7
スキャンモードの設定.....	8
ブザー設定.....	9
1. 読取確認音の設定.....	9
2. ブザー音程.....	9
3. ブザー音長.....	9
4. 起動音の設定.....	9
デコード設定.....	10
1. デコード二重チェックの設定.....	10
インターフェースの各種設定.....	10
1. HID／仮想COMの選択.....	10
キーボード接続の各種設定.....	11
1. キーボード種類(国別)設定.....	11
2. Caps Lock の設定.....	11
3. 文字送信(キーストローク)間隔.....	11
4. ファンクションキーバーコード.....	12
付加文字列の設定.....	13
プリフィックス／サフィックスの設定.....	13
ターミネータの設定.....	13
読み取りバーコードシンボル体系 有効／無効の設定.....	14
JAN / EAN -13 / UPC-A.....	14
JAN / EAN -8.....	14
UPC-E.....	14
コード 39.....	14
コーダバー(NW7).....	14
インタリーブド 2 オブ 5.....	14
インダストリアル 2 オブ 5.....	15
マトリクス 2 オブ 5.....	15
コード 128.....	15
GS1-DATABAR.....	15
コード 11.....	15
MSI / Plessey.....	15
コード 32.....	15
JAN / EAN-13 / UPC-A の詳細設定.....	16
1. 読取許可.....	16
2. JAN / EAN -13 / UPC-A チェックキャラクタ送信.....	16
3. JAN / EAN -13 / UPC-A アドオンコード.....	16
JAN / EAN-8の詳細設定.....	17

1. 読取許可.....	17
2. チェックキャラクタ送信.....	17
3. JAN / EAN -8 アドオンコード.....	17
UPC-E の詳細設定	18
1. 読取許可.....	18
2. チェックキャラクタ送信.....	18
3. UPC-E アドオンコード.....	18
UPC / JAN / EAN 変換の設定.....	19
1. UPC-E を UPC-A に変換.....	19
2. UPC-A を JAN / EAN-13 に変換.....	19
3. 図書2段バーコードの上段をISBN 10 桁に変換.....	19
コード 39 の詳細設定	20
1. 読取許可.....	20
2. フル ASCII 変換.....	20
3. スタート/ストップキャラクタ送信.....	20
4. チェックキャラクタ照合.....	20
5. チェックキャラクタ送信.....	20
6. 読取り桁数設定.....	21
コーダバー(NW7)の詳細設定	22
1. 読取許可.....	22
2. スタート/ストップコード送信.....	22
3. スタート/ストップコード.....	22
4. 読取り桁数設定.....	22
インタリーブド 2 オブ 5 (ITF) の詳細設定.....	24
1. 読取許可.....	24
2. チェックキャラクタ照合.....	24
3. チェックキャラクタ送信.....	24
4. 読取り桁数設定.....	24
インダストリアル 2 オブ 5 の詳細設定.....	26
1. 読取許可.....	26
2. チェックキャラクタ照合.....	26
3. チェックキャラクタ送信.....	26
マトリクス 2 オブ 5 の詳細設定.....	27
1. 読取許可.....	27
2. チェックキャラクタ照合.....	27
3. チェックキャラクタ送信.....	27
コード 128 (GS1-128 を含む) の詳細設定.....	28
1. コード 128 読取許可.....	28
2. 読取り桁数設定.....	28
GS1コードの詳細設定	29
1. GS1-DATABARの読取許可.....	29
2. GS1-DATABAR LIMITEDの読取許可.....	29
コード 93 の詳細設定	30
1. 読取許可.....	30
2. チェックキャラクタ送信.....	30
コード 11 の詳細設定.....	31
1. 読取許可.....	31
2. チェックキャラクタ送信.....	31

MSI / Plessey の詳細設定	32
1. 読取許可	32
2. チェックキャラクタ照合	32
3. チェックキャラクタ送信	32
コード 32 の詳細設定	33
1. 読取許可	33
2. チェックキャラクタ送信	33
保守メニュー	34
1. ファームウェアのバージョン確認	34
サンプルバーコード	35
ASCII キャラクタ配列表 (00hex ~ 7Fhex)	38
16進/10進設定バーコード	39

安全上のご注意

ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、安全に正しくお使いください。

本書では、製品を安全に正しくお使いいただくため、また機器の損傷を防ぐため、次の記号を用いて、守っていただきたい事項を示しています。

 警告	この表示の内容を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示の内容を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

記号の意味:

△記号は、注意(危険・警告を含む)を促す内容があることを示しています。

⊘記号は、禁止(してはいけないこと)であることを示しています。

Ⓢ記号は、必ずして欲しい内容を示しています。

 警告	
重要:システム設計者へ ◆ 薬品の管理など、人命に影響を与える可能性があるシステムでは、データが誤った場合でも人命に影響を与える可能性が無いよう、冗長設計、安全設計には十分ご注意ください。	
◆ 次のような場合は、すぐにホスト側の電源を切り、インタフェースケーブルのコネクタを抜いて販売店にご連絡ください。 そのまま使用すると、火災や感電、事故または故障の原因になります。 ➢ 煙がでている場合、変なおいや音がしている場合 ➢ 製品の内部やすき間に、金属片や水などの異物が入った場合 ➢ 製品を落とすなどして動作しなくなった場合、ケースが破損した場合	
◆ 製品を分解したり、改造したりしないでください。 事故や故障の原因になります。	
◆ 湿気の異常に多い場所や水滴のかかる可能性のある場所では使用しないでください。 火災や感電、故障の原因になります。	
◆ 製品の内部やすき間に、金属片を落としたり、水などの液体をこぼしたりしないでください。 火災や感電、故障の原因になります。	
◆ 濡れた手で、インタフェースケーブルなどを接続したり取り外したりしないでください。 感電の原因となることがあります。	

 注意	
次のようなことは、絶対に行なわないでください。守らないと、火災や感電、事故または故障の原因となります。 ◆ スキャナ本体やインタフェースケーブルの上に重たいものを置かないでください。また重いものの下敷きにならないようにしてください。 ◆ スキャナ本体をたたいたり落としたりして衝撃を与えないでください。 ◆ 不安定な場所に置かないでください。 ◆ インタフェースケーブルを無理に曲げたり、ねじったり、強く引っ張ったりしないでください。	

N1 の接続手順

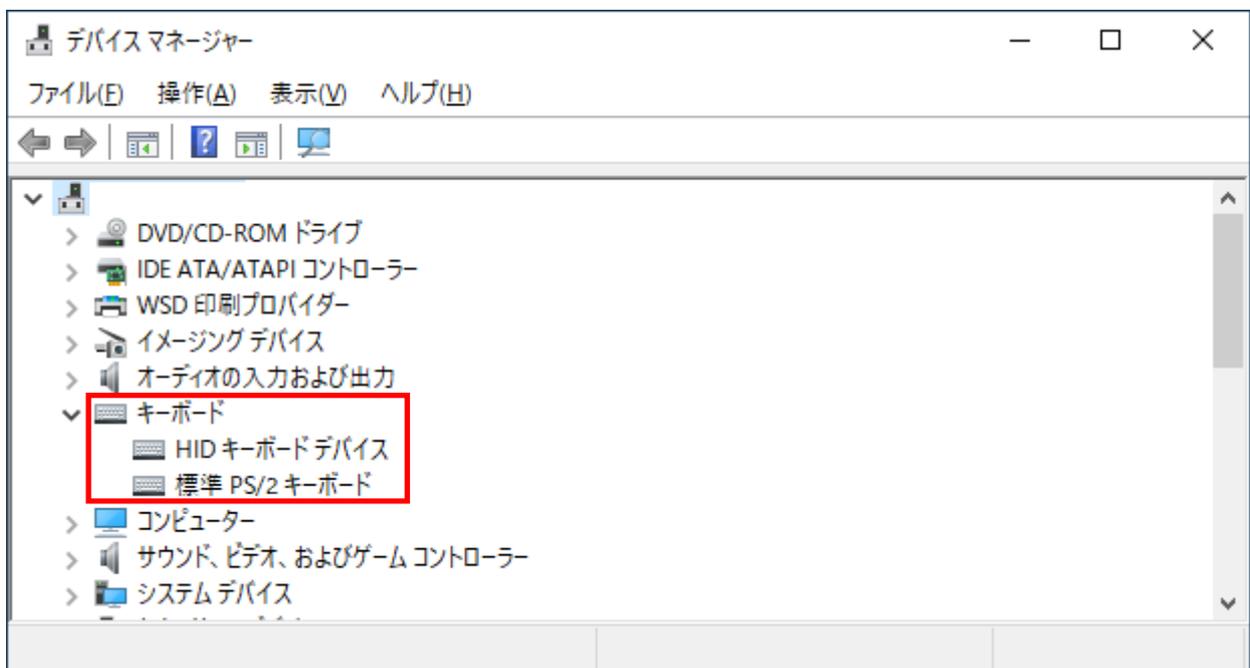
USB キーボードインタフェースの接続手順

(1) ドライバのインストール

製品を初めて PC に接続すると、「新しいハードウェアが見つかりました。」というコメントがPCのディスプレイ右下に数秒間だけ現れドライバのインストールが自動で開始します。

(以前に同じ製品や同じドライバを使用する他社製品をお使いのPCに繋いだことがある場合は、上記コメントが出ないで接続が完了する場合があります。2・3分経っても何も出てこない場合は、デバイスマネージャー上の「キーボード」の項目に「HIDキーボードデバイス」が出来上がっているかご確認頂くかキーボード信号が出力できるエクセルやメモ帳等を開いた上で製品にて次ページのバーコードを読んでデータが出力されるかご確認ください。

※デバイスマネージャー上の「キーボード」の項目に「HIDキーボードデバイス」が出来上がっている場合、その状態でN1をUSBポートから外して頂き「HIDキーボードデバイス」が 1 個消えればPC側でN1が認識されることになります。(逆にUSBポートに繋がますと「HIDキーボードデバイス」が 1 個追加されます)



※デバイスマネージャーがどこにあるか分からない場合

PCディスプレイ左下の Microsoft のマーク右横の検索の所に「デバイスマネージャー」と入力して頂くと場所が検索できます。



Windows7等の場合は、Microsoft のマーク (またはスタート) をクリックして頂くと検索できる所が出てきます。

(2) 読取テスト:

文字入力できるアプリケーション(メモ帳など)を起動して、次のテストバーコードを読み取ります。



カーソルの位置に「12345」と入力されていればテスト OK です。セットアップは完了しました。

この後、必要に応じて、各種パラメータを設定してください。

※Word 等で読取りテストを行う場合、全角設定になっていると正常にデータが出力されませんので設定が半角になっているか確認の上、読取テストを行ってください。

また、設定を半角にしたにも関わらず何故か全角でデータが出力される場合は、製品を繋げたままでPCの再立ち上げを一度行ってみてください。

設定手順

- (1) 「開始」バーコードを読み取ります。ブザーが「ピーッ、ピッ」と 2 回鳴り、設定モードに入ったことを知らせます。
- (2) 変更したいパラメータの設定バーコードを読み取ります。ブザーが「ピッ」と 1 回鳴り、設定バーコードを読み取ったことを知らせます。
- (3) パラメータによっては、16 進または 10 進で数値を指定します。
- (4) 必要な設定が終わったら、「終了」バーコードを読み取ります。ブザーが「ピーッ、ピピッ」と 3 回鳴り、設定が終了したことを知らせます。
- (5) 複数のパラメータを変更する場合は、1～4を同様に繰り返します。

※ 設定内容がわからなくなってしまった場合は、一度『出荷時設定』に戻してから、必要に応じてパラメータを変更してください。

※ 16 進設定など、複数のバーコードを読み取って設定するパラメータについては、設定の途中で「終了」バーコードを読み取ると設定変更は破棄されます。

設定例: インタリーブド 2 オブ 5 (ITF) のチェックキャラクタを「照合する」に変更する場合:

- (1) p24 ページを開きます。
- (2) ページ左上の「開始」バーコードを読み取ります。
- (3) 「2.チェックキャラクタ照合」の「照合する」バーコードを読み取ります。
- (4) ページ右上の「終了」バーコードを読み取ります。

出荷時設定

N1 を出荷時設定に戻すには、次の 5 つの設定バーコードを上から順に読み取ります。

※ 出荷時に下記設定をしてありますので、通常はそのままでお使いいただけます。



開始



初期設定



USB 接続



日本語キーボード



終了

※ 設定バーコードで、下線のついている項目は、上記出荷時設定を行なったときに設定される項目です。



開始



終了

スキャンモードの設定



トリガーON／トリガーOFF

- トリガーを押している間、LED が点灯し、読み取りが行えます。トリガーを離すと LED が消灯します。
(但し、読取りに成功するとトリガーを押していてもLEDは消灯します)



トリガーON／読取成功 OFF

- トリガーを押すと約 2 秒間 LED が点灯し、読み取りが行えます。
- 読み取りに成功すると LED が消灯します。



連続 ON／トリガーOFF

- トリガーを押すと LED が点灯したままになり、トリガーを押さずに連続読み取りが可能になります。
- もう一度トリガーを押すと、LED が消灯します。



連続 ON／常時点灯

- LED が常時点灯します。トリガーを押さずに連続読み取りが可能です。



点滅モード

- トリガーを押すと LED が点滅発光します。トリガーを押さずに連続読み取りが可能です。



開始



終了

ブザー設定

1. 読取確認音の設定



確認音あり



確認音なし

※「確認音なし」に設定後、再び「確認音あり」に設定すると、ブザー音程が変わる場合があります。
その場合は、次項「ブザー音程」にて音程を再設定してください。

2. ブザー音程

ブザー音程を、10進で 00hex～10hex の範囲で設定できます。(初期:09)

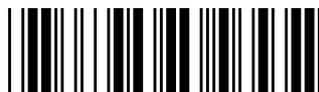


ブザー音程の設定

※「開始」、「ブザー音程」バーコードに続いて、付加したい文字の hex コード(2桁)を p39 の
「16進/10進設定バーコード」で読み取ってから、「終了」バーコードを読み取ります。

3. ブザー音長

ブザー音長を、10進で 01hex～10hex の範囲で設定できます。(初期:05)



ブザー音長の設定

※「開始」、「ブザー音長」バーコードに続いて、付加したい文字の hex コード(2桁)を p39 の
「16進/10進設定バーコード」で読み取ってから、「終了」バーコードを読み取ります。

4. 起動音の設定



起動音あり



起動音なし



開始



終了

デコード設定

1. デコード二重チェックの設定



二重チェックしない



二重チェックする

デコードの際、解析したデータが二回連続で同一だった場合に正しいデータとみなす機能です。
バーコードの品質が悪くて誤読が発生する際、「二重チェックする」に設定することで誤読を減らすことができます。

インターフェースの各種設定

1. HID／仮想COMの選択



HID



仮想COM

スキャナの通信仕様をHID(キーボード)信号から仮想COM(RS232C)信号に変更することができます。
仮想COMに変更した場合、Windows10では自動でドライバのインストールが行われますが、Windows 8, 8.1では専用のドライバをインストールする必要があります。専用のドライバは弊社ホームページよりダウンロードしてください。

また、仮想COMに変更した場合、RS232Cの信号でデータが出力されるためPC側でこの信号をHID信号に変換するソフトが必要となりますのでご注意ください。

(弊社ではRS-receiver Liteを推奨(販売)しております。)



開始



終了

キーボード接続の各種設定

1. キーボード種類(国別)設定



106(日本語)キーボード



101(英語)キーボード

※その他の言語のキーボードについては、巻末に記載の弊社担当窓口までお問い合わせください。

2. Caps Lock の設定



OFF



ON

※ON にすると、バーコードデータのアルファベットの大文字を小文字に、小文字を大文字に変換します。
PCの Caps Lock が ON になっていて、データの大文字と小文字が逆になってしまう場合に有効です。

3. 文字送信(キーストローク)間隔

文字送信(キーストローク)間隔を、10 進で 00hex~64hex の範囲で設定できます。単位はおよそ 1 ミリ秒です。
初期設定値は 00hex です。スキャナからのキーボード入力信号を PC 側が受けきれない場合は、送信速度を遅くします。



文字送信間隔の設定

※「開始」、「文字送信間隔」バーコードに続いて、付加したい文字の hex コード(2桁)を p39 の「16進/10進設定バーコード」で読み取ってから、「終了」バーコードを読み取ります。



開始



終了

4. ファンクションキーバーコード

コード 39 で作成した専用のバーコードを読み取ることで、[F1]～[F12]キーの信号を送信することができます。初期設定は「ファンクションキー無効」です。

※ この機能は、p20「コード 39」の詳細設定で「フル ASCII 変換する」に設定すると有効になります。

※ この機能をご利用の際は、p13「付加文字列の設定」で「ターミネータなし」に設定することをお勧め致します。

※ Ver.1.07 は有効／無効の設定が効かず有効状態となっているため下記バーコードの読取は不要です。



ファンクションキー有効



ファンクションキー無効

ファンクションキーバーコード一覧表

ファンクションキー	コード 39 バーコード	ファンクションキー	コード 39 バーコード
F1		F7	
F2		F8	
F3		F9	
F4		F10	
F5		F11	
F6		F12	



開始



終了

付加文字列の設定

バーコードデータの前後に任意の文字列を付加することができます。

プリフィックス(データ前付加文字列)、サフィックス(データ後付加文字列)およびターミネータ(終端文字)を設定できます。

データに対するそれぞれの付加位置は次の通りです。

[プリフィックス:0~10 文字][バーコードデータ][サフィックス:0~10 文字][ターミネータ:0~1 文字]

プリフィックス／サフィックスの設定

データの前後に各最大 10 文字、任意の文字列を付加することができます。

※「開始」、「プリフィックスの設定」または「サフィックスの設定」バーコードに続いて、付加したい文字の hex コード (2桁) を p39 の「16進／10進設定バーコード」で読み取ってから、「終了」バーコードを読み取ります。

※プリフィックス／サフィックスの設定を解除するには、「00hex」に設定します。

※各文字の hex コードは、p38 の「ASCII キャラクタ配列表」をご参照ください。

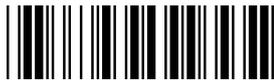


プリフィックスの設定



サフィックスの設定

ターミネータの設定



ターミネータなし



Esc



Enter



Tab



開始



終了

読み取りバーコードシンボル体系 有効／無効の設定

JAN / EAN -13 / UPC-A

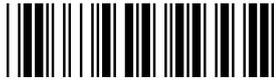


JAN / EAN -13/UPC-A 有効



JAN / EAN -13/UPC-A 無効

JAN / EAN -8



JAN / EAN -8 有効

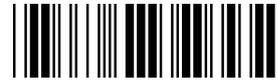


JAN / EAN -8 無効

UPC-E



UPC-E 有効



UPC-E 無効

コード 39



コード 39 有効

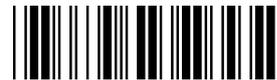


コード 39 無効

コーダバー(NW7)



コーダバー (NW7) 有効



コーダバー (NW7) 無効

インタリーブド 2 オブ 5



インタリーブド 2 オブ 5 有効



インタリーブド 2 オブ 5 無効



開始



終了

インダストリアル 2 オブ 5



インダストリアル 2 オブ 5 有効



インダストリアル 2 オブ 5 無効

マトリクス 2 オブ 5



マトリクス 2 オブ 5 有効



マトリクス 2 オブ 5 無効

コード 128



コード 128 有効



コード 128 無効

GS1-DATABAR



GS1-DATABAR 有効



GS1-DATABAR 無効

コード 11



コード 11 有効



コード 11 無効

MSI / Plessey



MSI / Plessey 有効



MSI / Plessey 無効

コード 32



コード 32 有効



コード 32 無効



開始



終了

JAN / EAN-13 / UPC-A の詳細設定

1. 読取許可



読取許可



読取禁止

2. JAN / EAN -13 / UPC-A チェックキャラクタ送信



送信する



送信しない

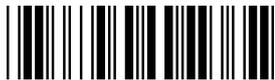
3. JAN / EAN -13 / UPC-A アドオンコード



アドオンなしのみ有効



アドオン 2桁のみ有効



アドオン 5桁のみ有効



アドオン 2桁および 5桁のみ 有効



アドオンなし・あり共有効

※“アドオンなし・あり共有効”の設定ができるのは下記シリアル以降のものとなりますのでご注意ください。

シリアル: 1416000001～

初期状態の“アドオンなしのみ有効”の設定でアドオン付きのバーコードを読むとアドオン以外のデータしか出力されませんのでご注意ください。

アドオン 2桁・5桁の設定を行うとアドオンが付いていないJAN/EAN-13は読取りできなくなりますのでご注意ください。



開始



終了

JAN / EAN-8の詳細設定

1. 読取許可



読取許可



読取禁止

2. チェックキャラクタ送信



送信する



送信しない

3. JAN / EAN -8 アドオンコード



アドオンなしのみ有効



アドオン 2 桁のみ有効



アドオン 5 桁のみ有効



アドオン 2 桁および 5 桁のみ有効



アドオンなし・あり共有効

※“アドオンなし・あり共有効”の設定ができるのは下記シリアル以降のものとなりますのでご注意ください。

シリアル: 1416000001～

初期状態の“アドオンなしのみ有効”の設定でアドオン付きのバーコードを読むとアドオン以外のデータしか出力されませんのでご注意ください。

アドオン 2 桁・5 桁の設定を行うとアドオンが付いていない JAN / EAN-8 は読取りできなくなりますのでご注意ください。



開始



終了

UPC-E の詳細設定

1. 読取許可



読取許可



読取禁止

2. チェックキャラクタ送信



送信する



送信しない

3. UPC-E アドオンコード



アドオンなしのみ有効



アドオン 2 桁のみ有効



アドオン 5 桁のみ有効



アドオン 2 桁および 5 桁のみ 有効



アドオンなし・あり共有効

※“アドオンなし・あり共有効”の設定ができるのは下記シリアル以降のものとなりますのでご注意ください。

シリアル:1416000001～

初期状態の“アドオンなしのみ有効”の設定でアドオン付きのバーコードを読むとアドオン以外のデータしか出力されませんのでご注意ください。

アドオン 2 桁・5 桁の設定を行うとアドオンが付いていないUPC-Eは読取りできなくなりますのでご注意ください。



開始



終了

UPC / JAN / EAN 変換の設定

1. UPC-E を UPC-A に変換



変換する



変換しない

2. UPC-A を JAN / EAN-13 に変換



変換する



変換しない

3. 図書2段バーコードの上段をISBN 10 桁に変換



変換する



変換しない

※ISBNに“変換する”の設定ができるのは下記シリアル以降のものとなりますのでご注意ください。

シリアル:1416000001～



開始



終了

コード 39 の詳細設定

1. 読取許可



読取許可



読取禁止

2. フル ASCII 変換



フル ASCII 変換する



フル ASCII 変換しない

3. スタート/ストップキャラクタ送信



送信する



送信しない

4. チェックキャラクタ照合



照合する



照合しない

5. チェックキャラクタ送信



送信する



送信しない

※チェックキャラクタ照合を“照合する”に設定するとチェックキャラクタは“送信しない”に変わってしまいますので送信したい場合は、上記設定にて“送信する”に設定を行って下さい。



開始



終了

6. 読取り桁数設定

最小読取り桁数と最大読取り桁数を設定することができます。

読み取れる桁数を狭めることで誤読の発生を抑えることができます。

最小読取り桁数と最大読取り桁数を同じ数字にすることで1桁固定に設定することができます。



最小読取り桁数の設定



最大読取り桁数の設定

※設定を行うためには、『開始』→『最小(「最大」読取り桁数の設定)』→p39の16進/10進設定バーコード2桁(例:5桁に設定の場合は0と5)→p39の『終了』の順にバーコードを読んでいけば設定完了となります。(注記:16進設定のため17桁に設定の場合は、1と7ではなく1と1を読む必要がありますのでご注意ください。)

※最小読取り桁数のデフォルトは**01**で最大読取り桁数のデフォルトは**50**となっています。

(50は10進数では80桁になりますが80桁のバーコードが読取れる訳ではなく、あくまでソフトの設定として設定できるだけとなりますので読める桁数のバーコードは現物にてお確かめください。)

※最小読取り桁数と最大読取り桁数は同時に設定できませんので開始～終了までのバーコードを読んで設定完了後にもう一方の設定を行うようにしてください。



開始



終了

コーダバー(NW7)の詳細設定

1. 読取許可



読取許可



読取禁止

2. スタート/ストップコード送信



送信する



送信しない

3. スタート/ストップコード



ABCD / ABCD



abcd / abcd



abcd / tn*e

4. 読取り桁数設定

最小読取り桁数と最大読取り桁数を設定することができます。

読み取れる桁数を狭めることで誤読の発生を抑えることができます。

最小読取り桁数と最大読取り桁数を同じ数字にすることで1桁固定に設定することができます。



最小読取り桁数の設定



最大読取り桁数の設定

※設定を行うためには、『開始』→『最小(「最大」読取り桁数の設定)』→p39の16進/10進設定バーコード2桁(例:5桁に設定の場合は0と5)→p39の『終了』の順にバーコードを読んでいけば設定完了となります。(注記:16進設定のため17桁に設定の場合は、1と7ではなく1と1を読む必要が



開始



終了

ありますのでご注意ください。)

※最小読取り桁数のデフォルトは**06**で最大読取り桁数のデフォルトは**50**となっています。

(**50**は10進数では80桁になりますが80桁のバーコードが読取れる訳ではなく、あくまでソフトの設定として設定できるだけとなりますので読める桁数のバーコードは現物にてお確かめください。)

※最小読取り桁数と最大読取り桁数は同時に設定できませんので開始～終了までのバーコードを読んで設定完了後にもう一方の設定を行うようにしてください。



開始



終了

インタリーブド 2 オブ 5 (ITF) の詳細設定

1. 読取許可



読取許可



読取禁止

2. チェックキャラクタ照合



照合する



照合しない

3. チェックキャラクタ送信



送信する



送信しない

※チェックキャラクタ照合を“照合する”に設定するとチェックキャラクタは“送信しない”に変わってしまいますので送信したい場合は、上記設定にて“送信する”に設定を行って下さい。

4. 読取り桁数設定

最小読取り桁数と最大読取り桁数を設定することができます。

読み取れる桁数を狭めることで誤読の発生を抑えることができます。

最小読取り桁数と最大読取り桁数を同じ数字にすることで1桁固定に設定することができます。



最小読取り桁数の設定



最大読取り桁数の設定

※設定を行うためには、『開始』→『最小(「最大」読取り桁数の設定)』→p39の16進/10進設定バーコード2桁(例:5桁に設定の場合は0と5)→p39の『終了』の順にバーコードを読んでいけば設定完了となります。(注記:16進設定のため17桁に設定の場合は、1と7ではなく1と1を読む必要がありますのでご注意ください。)

※最小読取り桁数のデフォルトは06で最大読取り桁数のデフォルトは50となっています。



開始



終了

(50は10進数では80桁になりますが80桁のバーコードが読取れる訳ではなく、あくまでソフトの設定として設定できるだけとなりますので読める桁数のバーコードは現物にてお確かめください。)
※最小読取り桁数と最大読取り桁数は同時に設定できませんので開始～終了までのバーコードを読んで設定完了後にもう一方の設定を行うようにしてください



開始



終了

インダストリアル 2 オブ 5 の詳細設定

1. 読取許可



読取許可



読取禁止

2. チェックキャラクタ照合



照合する



照合しない

3. チェックキャラクタ送信



送信する



送信しない

※チェックキャラクタ照合を“照合する”に設定するとチェックキャラクタは“送信しない”に変わってしまいますので送信したい場合は、上記設定にて“送信する”に設定を行って下さい。



開始



終了

マトリクス 2 オブ 5 の詳細設定

1. 読取許可



読取許可



読取禁止

2. チェックキャラクタ照合



照合する



照合しない

3. チェックキャラクタ送信



送信する



送信しない

※チェックキャラクタ照合を“照合する”に設定するとチェックキャラクタは“送信しない”に変わってしまいますので送信したい場合は、上記設定にて“送信する”に設定を行って下さい。



開始



終了

コード 128 (GS1-128 を含む)の詳細設定

1. コード 128 読取許可



読取許可



読取禁止

2. 読取り桁数設定

最小読取り桁数と最大読取り桁数を設定することができます。

読み取れる桁数を狭めることで誤読の発生を抑えることができます。

最小読取り桁数と最大読取り桁数を同じ数字にすることで1桁固定に設定することができます。



最小読取り桁数の設定



最大読取り桁数の設定

※設定を行うためには、『開始』→『最小(「最大」読取り桁数の設定)』→p39 の16進/10進設定バーコード2桁(例:5桁に設定の場合は0と5)→p39 の『終了』の順にバーコードを読んでいけば設定完了となります。(注記:16進設定のため17桁に設定の場合は、1と7ではなく1と1を読む必要がありますのでご注意ください。)

※最小読取り桁数のデフォルトは**03**で最大読取り桁数のデフォルトは**50**となっています。

(50は10進数では80桁になりますが80桁のバーコードが読取れる訳ではなく、あくまでソフトの設定として設定できるだけとなりますので読める桁数のバーコードは現物にてお確かめください。)

※最小読取り桁数と最大読取り桁数は同時に設定できませんので開始～終了までのバーコードを読んで設定完了後にもう一方の設定を行うようにしてください。



開始



終了

GS1コードの詳細設定

1. GS1-DATABARの読取許可



読取許可



読取禁止

2. GS1-DATABAR LIMITEDの読取許可



読取許可



読取禁止



開始



終了

コード 93 の詳細設定

1. 読取許可



読取許可



読取禁止

2. チェックキャラクタ送信



送信する



送信しない



開始



終了

コード 11 の詳細設定

1. 読取許可



読取許可



読取禁止

2. チェックキャラクタ送信



送信する



送信しない



開始



終了

MSI / Plessey の詳細設定

1. 読取許可



読取許可



読取禁止

2. チェックキャラクタ照合



Mod 10



照合しない

3. チェックキャラクタ送信



送信する



送信しない



開始



終了

コード 32 の詳細設定

1. 読取許可



読取許可



読取禁止

※“読取り許可”に設定しないでCODE32のバーコードを読むと正常にデータが出力されませんのでご注意ください。

2. チェックキャラクタ送信



送信する



送信しない



開始



終了

保守メニュー

1. ファームウェアのバージョン確認



バージョン確認

このバーコードを読取ると、ファームウェアのバージョンがデータとしてスキャナから送信されます。

※ 本取扱説明書(1.4b 版)は、次のファームウェアバージョンに対応しています。

・22JGSV1.12U-09/04/2017

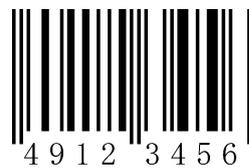
※03JV0.9※※以前のバージョンのものは 1.3d 版をご利用ください。

サンプルバーコード

JAN / EAN-13



JAN / EAN-8



UPC-A



UPC-E



コード 39 (チェックキャラクタなし)



コード 32



コード 39 (チェックキャラクタ付)



コード 39 (フル ASCII)



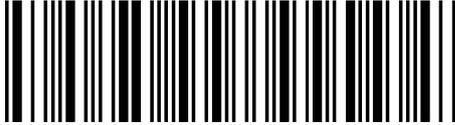
コード 11 (チェックキャラクタなし)



コード 11 (チェックキャラクタ付)



コーダバー(チェックキャラクタなし)



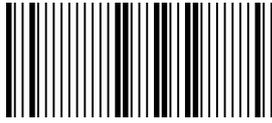
a123456789a

コーダバー(チェックキャラクタ付)



a123451a

MSI/Plessey(チェックキャラクタなし)



2006330

MSI/Plessey(チェックキャラクタ付)



20063301

コード 128



NICHIEI-INTEC

GS1-128



(21) 060428 (11) 060525

インタリーブド 2 オブ 5



0123456

ITF-14



14560151181353

GS1-DATABAR



(01) 0 0614141 99999 6

GS1-DATABAR LIMITED

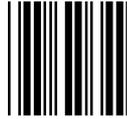


(01) 0 0614141 99999 6

ASCII キャラクタ配列表 (00hex~7Fhex)

上位桁 下位桁	0	1	2	3	4	5	6	7
0	NUL	DLE	空白	0	@	P	`	p
1	SOH	DC1	!	1	A	Q	a	q
2	STX	DC2	“	2	B	R	b	r
3	ETX	DC3	#	3	C	S	c	s
4	EOT	DC4	\$	4	D	T	d	t
5	ENQ	NAK	%	5	E	U	e	u
6	ACK	SYN	&	6	F	V	f	v
7	BEL	ETB	‘	7	G	W	g	w
8	BS	CAN	(8	H	X	h	x
9	HT	EM)	9	I	Y	i	y
A	LF	SUB	*	:	J	Z	j	z
B	VT	ESC	+	;	K	[k	{
C	FF	FS	,	<	L	¥	l	
D	CR	GS	-	=	M]	m	}
E	SO	RS	.	>	N	^	n	~
F	SI	US	/	?	O	_	o	

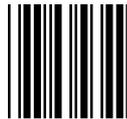
16進/10進設定バーコード



0



1



2



3



4



5



6



7



8



9



A



B



C



D



E



F



終了

(編集の都合上、このページは白紙です)

(編集の都合上、このページは白紙です)



日栄インテック株式会社

開発事業部 Auto-ID グループ

〒110-0016

東京都台東区台東 3-42-5

日栄インテック御徒町第1ビル

TEL 03-5816-7141

FAX 03-5816-7140

E-Mail info@barcode.ne.jp

URL <http://www.barcode.ne.jp/>

2020年3月改定